

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	石綿検診事業				シート番号	011-227
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	保健所 保健医療	課 評価責任者(課長名) 藤川

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	平成 26 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	かつて堺市内の「麻袋再生事業所」の労働者及びその家族、周辺住民であった者で、石綿ばく露による健康被害を疑われる者の存在が明らかとなったため、平成26年10月から市独自の「石綿検診」を実施。平成27年度からは、環境省の「石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査」の対象地域として、国の委託を受け石綿検診を実施。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	市内在住で、原則として平成2年以前に市内に居住していた方か、過去に国が定める地域に居住していた方で石綿ばく露の可能性のある方				
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	石綿ばく露の可能性のある方に対する継続的な健康管理				
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	①石綿ばく露歴等の聞き取り ②肺がん検診の受診勧奨(6月～9月の間に受診) ③(肺がん検診の結果通知後)CT検査 ④保健指導 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
10	直接実施以外の主な支出先	近畿中央呼吸器センター、耳原総合病院、堺市立総合医療センター					

Ⅲ. 投入量

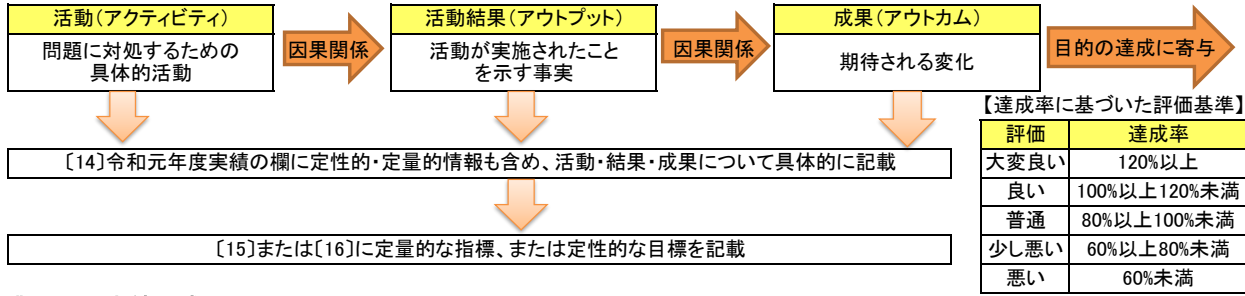
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	1,573	1,348	2,552	1,343	2,552	906	2,373	
	主な事業費内訳	CT検査等委託料	千円	1,111	1,045	2,159	1,083	2,159	694	1,535
			千円							
			千円							
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円	1,573	1,348	2,552	1,343	2,552	906	2,373
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
市債		千円								
	その他()	千円								
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	0	
12	人件費 (b)	千円	1,640	1,640	1,640	1,640	1,620	1,620	1,640	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	3,213	2,988	4,192	2,983	4,172	2,526	4,013	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	石綿検診事業	シート番号	011-227
-------	--------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	前年度に続き、市ホームページ、広報さかい(5月、7月号)に広報記事を掲載したことに加え堺シティレポでの放送(6月1日～6月7日)を実施し、当検診の広報・周知を行った。また、令和2年度から事業の委託元である国の制度が変更されたことに伴い、新制度の内容について7月31日に国への要望行動を行ったことに加え、再委託先の市内医療機関との調整を行い、引き続き、石綿ばく露の不安のある方に対する継続的な健康管理に寄与するための制度構築を行った。						
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	15	石綿検診受診者数	人	目標値	—	—	—	—
				実績値	45	47	28	
				達成率	—	—	—	
				評価	—	—	—	
		算出方法・設定根拠など	石綿検診受診者のうち、胸部CT検査受診者数					
	16		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				目標値				
				実績値				
達成率								
評価								

事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	石綿検診受診者数	人	45	47	28
	②	上記①にかかる年間経費	千円	2,988	2,983	2,526
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	66,400	63,468	90,214
備考(算出についての説明等)						
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
備考(算出についての説明等)						

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)
	本市は、令和元年度まで、環境省の実施する「石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査」に参加する形でアスベスト検診を実施してきたが、本来この試行調査は、受診初年度においては初期評価としてX線検査及びCT検査により石綿関連所見の有無を確認し、翌年度以降は各自自治体の既存検診による定期的な健康管理を行うことを想定しており、CT検査を毎年行うことは、放射線被ばくリスクの観点から推奨していない。平成30年度以前のCT検査受診者のうち、令和元年度は放射線被ばくリスク等の観点から受診せず、結果として人数が減少したものである。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	石綿検診事業	シート番号	011-227
-------	--------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 市民の健康管理に係る事業であり、検診の廃止により石綿関連疾患の早期発見の機会を逃す恐れがある。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 市民の健康管理に係る事業であり、検診の休止により石綿関連疾患の早期発見の機会を逃す恐れがある。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 当該事業は国からの委託を受け、100%特別財源で実施する事業であり、コスト縮減の検討にはなじまない。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 石綿検診の前段で受診が必要な集団検診については、一部会場を予約制で実施し、また精密検査受託先の医療機関の数を増やし、できるだけ受診機会を分散させる手法で密を避ける。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (健康医療推進課) 関連事業名 (感染症対策課) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明	既存検診との事業連携について検討を行う。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	国からの受託事業として適切に実施していく。		